

「中小企業の景況感に関する調査」集計結果

【略称：東商けいきょう】

平成18年10～12月期

【今回調査のポイント】

中小企業の景況感はいまだ厳しい状況にある。（2ページ質問2参照）

○調査項目	1. 業況	: 1 ページ
	2. 売上	: 3 ページ
	3. 採算（経常利益）	: 5 ページ
	4. 資金繰り	: 7 ページ
	5. 民間金融機関の貸出姿勢	: 9 ページ

【調査の概要】

○調査期間：平成18年11月30日～12月6日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,236社

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：860社（回答率38.5%）

※有効回答企業の業種別構成

- | | | |
|------------------|--------------------|------------------|
| ・製造業 245社（28.5%） | ・建設業 108社（12.6%） | ・小売業 151社（17.6%） |
| ・卸売業 129社（15.0%） | ・サービス業 227社（26.4%） | |

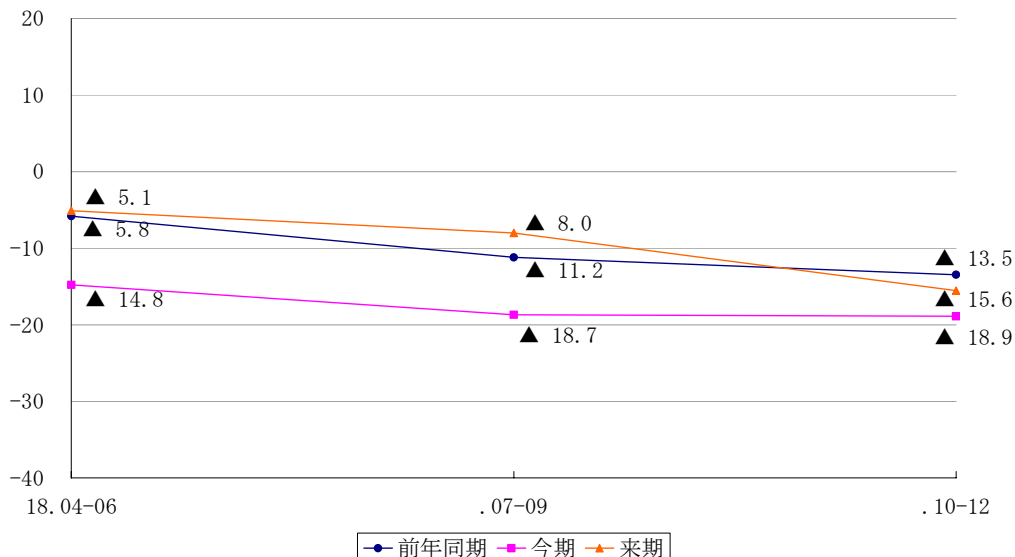
平成19年1月22日

東京商工会議所 中小企業・支部担当部

1. 業況

- 今期の業況水準は、DI が▲18.9 となり、前回調査の▲18.7 と同様に厳しい値を示している。
- 今期の業況水準は、「悪い」と回答した企業が 35.2%で、「良い」と回答した企業 16.3%を大きく上回っていることから、中小企業の景況感はいまだ厳しい状況にある。

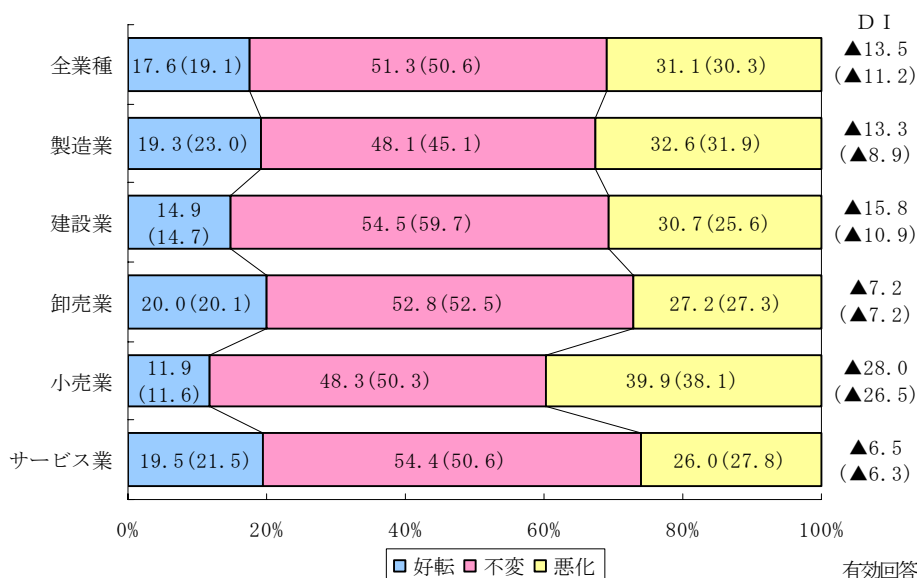
業況DIの推移（全業種）



- ・今期の業況水準は、DI が▲18.9 となり、前回調査の▲18.7 と同様に厳しい値を示している。

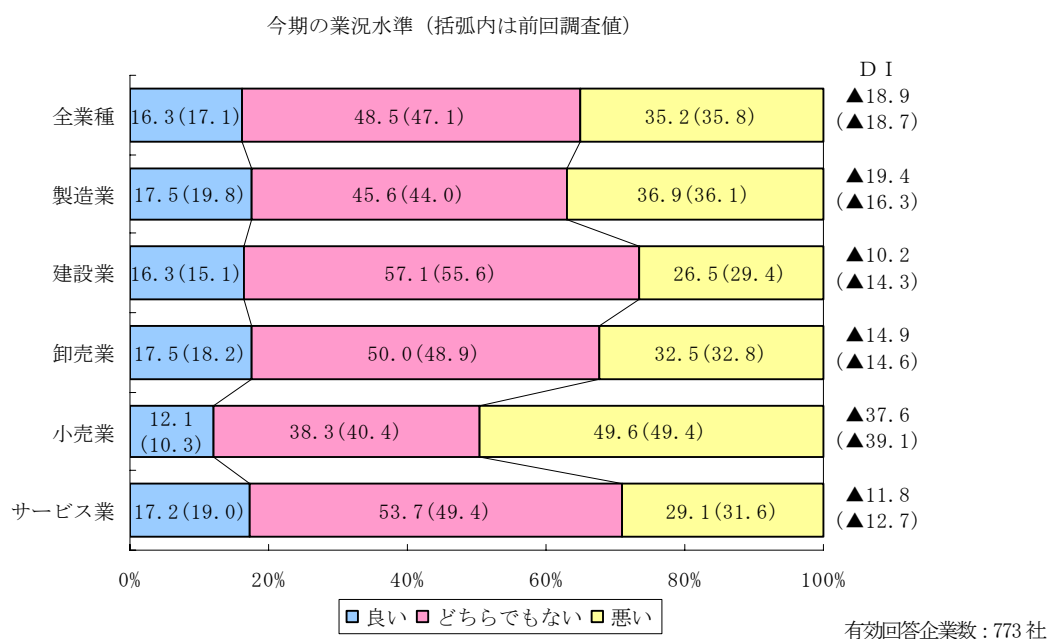
【質問1】前年同期（平成17年10～12月期）と比べた今期（平成18年10～12月期）の業況（自社）はどうですか。

前年同期と比べた今期の業況（括弧内は前回調査値）



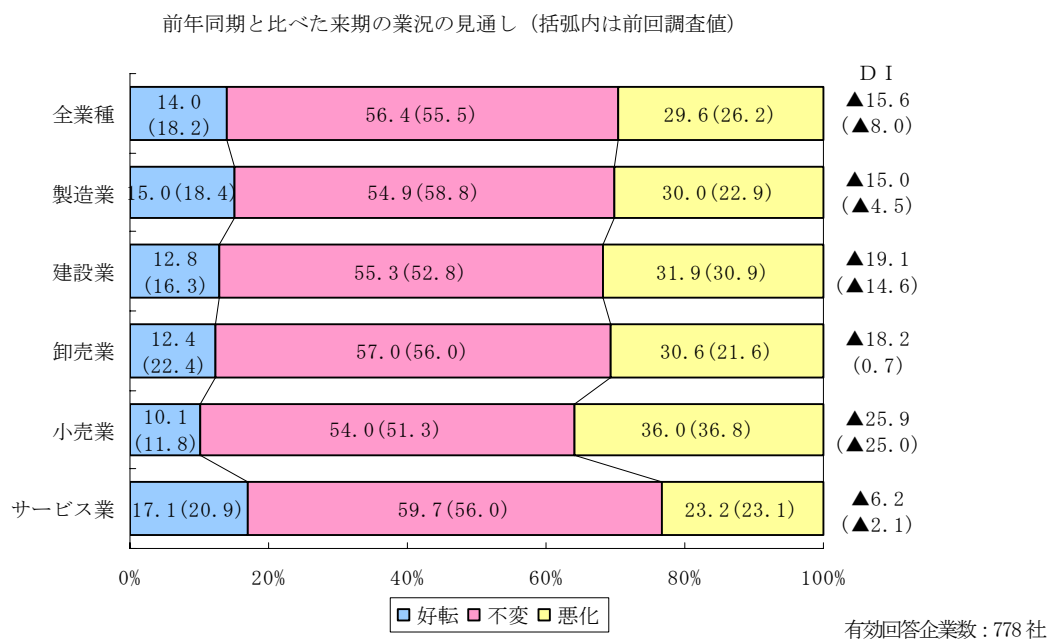
- ・全業種では「悪化」と回答した企業が31.1%で、「好転」と回答した企業17.6%を大きく上回っている。
- ・業種別では、小売業の厳しさが目立っている。

【質問2】 今期（平成18年10～12月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種では「悪い」と回答した企業が35.2%で、「良い」と回答した企業16.3%を大きく上回っていることから、中小企業の景況感はいまだ厳しい状況にある。
- ・業種別では、小売業で「悪い」とする割合が49.6%と過半数に近く、前回同様厳しさが目立っている。

【質問3】 前年同期（平成18年1～3月期）と比べた来期（平成19年1～3月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

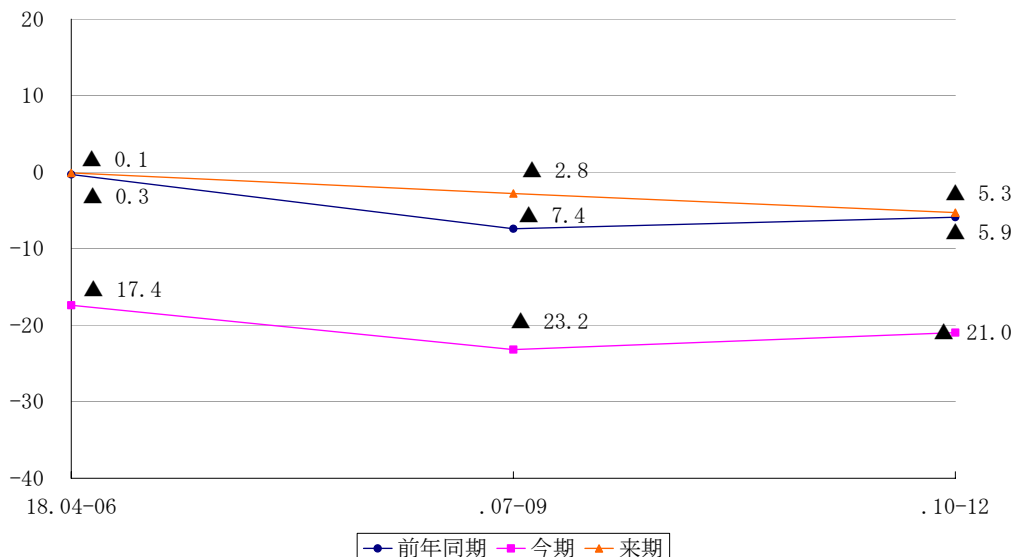


- ・全業種では「悪化する」と回答した企業が29.6%で、「好転する」と回答した企業の14.0%を大きく上回っていることから、回復傾向は見られない。

2. 売上

- 今期の売上水準DIは2.2ポイント（▲23.2→▲21.0）、前年同期と比べた今期の売上状況DIは1.5ポイント（▲7.4→▲5.9）と改善しているが、前年同期と比べた来期の売上の見通しDIは2.5ポイント（▲2.8→▲5.3）悪化している。
- 今期の売上水準は、「厳しい」と回答した企業が38.7%で、「好調」と回答した企業17.7%を大きく上回っている。

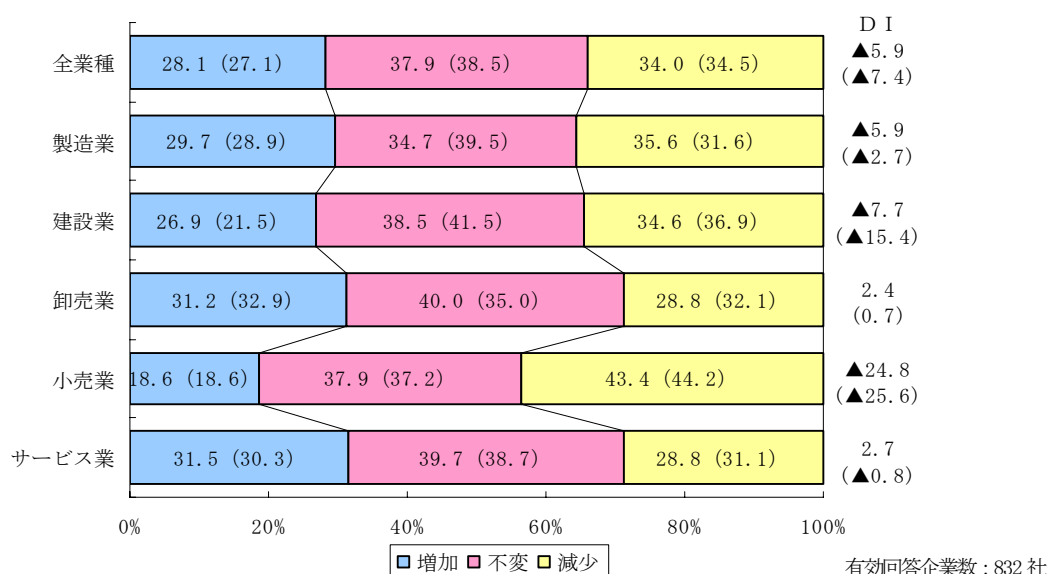
売上DIの推移(全業種)



- ・今期の売上水準DIは2.2ポイント（▲23.2→▲21.0）、前年同期と比べた今期の売上状況DIは1.5ポイント（▲7.4→▲5.9）と改善しているが、前年同期と比べた来期の売上の見通しDIは2.5ポイント（▲2.8→▲5.3）悪化している。

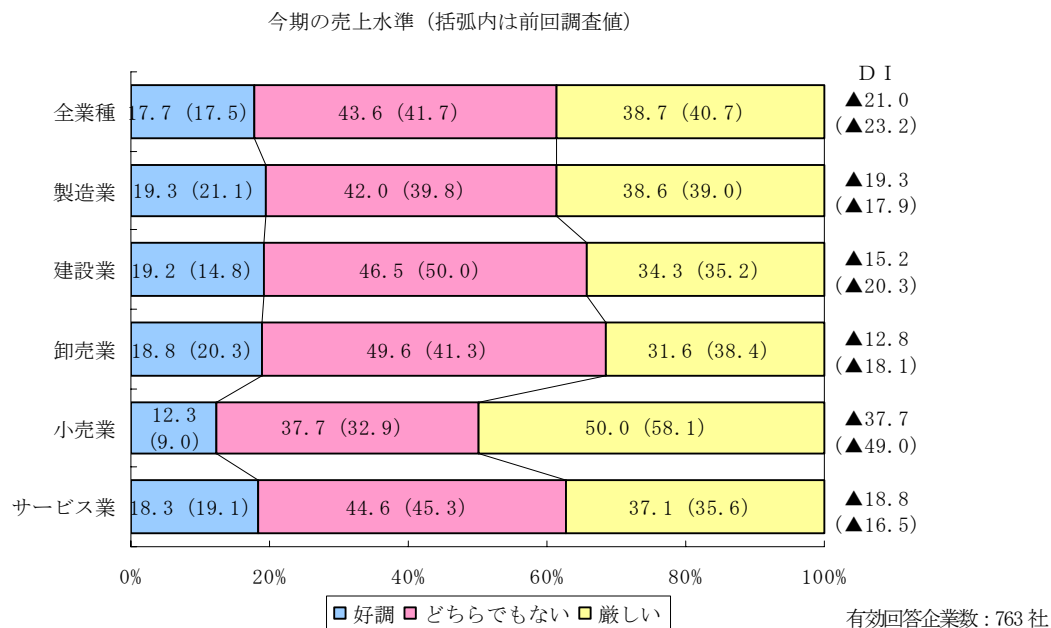
【質問4】前年同期（平成17年10～12月期）と比べた今期（平成18年10～12月期）の売上状況はどうですか。

前年同期と比べた今期の売上状況（括弧内は前回調査値）



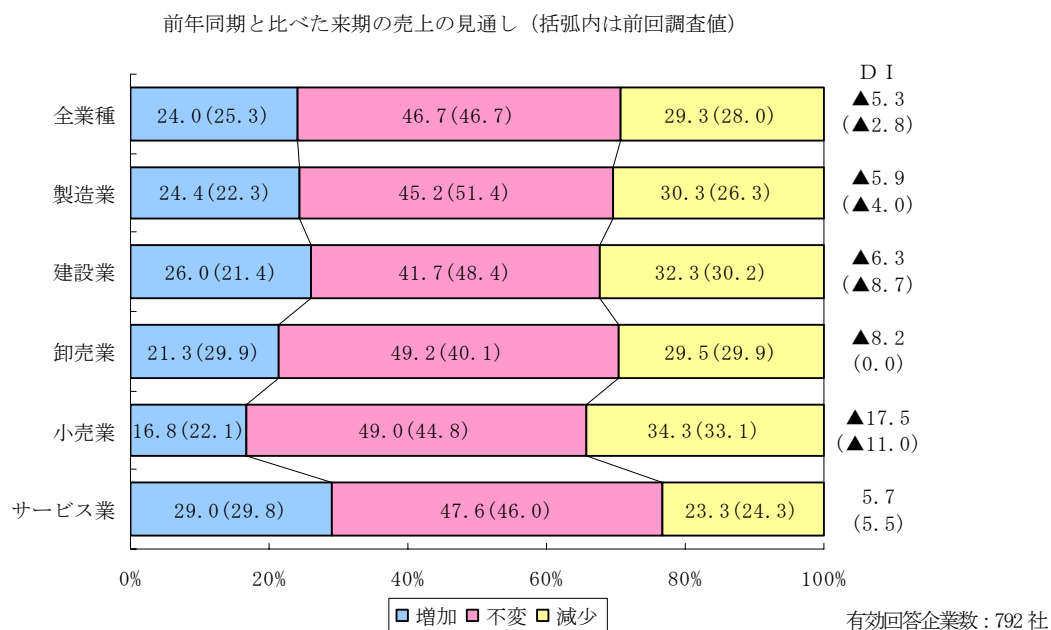
- ・全業種では「減少」と回答した企業が34.0%で、「増加」と回答した企業28.1%を上回っている。
- ・業種別では、小売業の厳しさが目立っている。

【質問5】 今期（平成 18 年 10～12 月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種では「厳しい」と回答した企業が 38.7%で、「好調」と回答した企業 17.7%を大きく上回っている。
- ・小売業では、半数の企業が「厳しい」と回答している。

【質問6】 前年同期（平成 18 年 1～3 月期）と比べた来期（平成 19 年 1～3 月期）の売上の見通しはどうか。

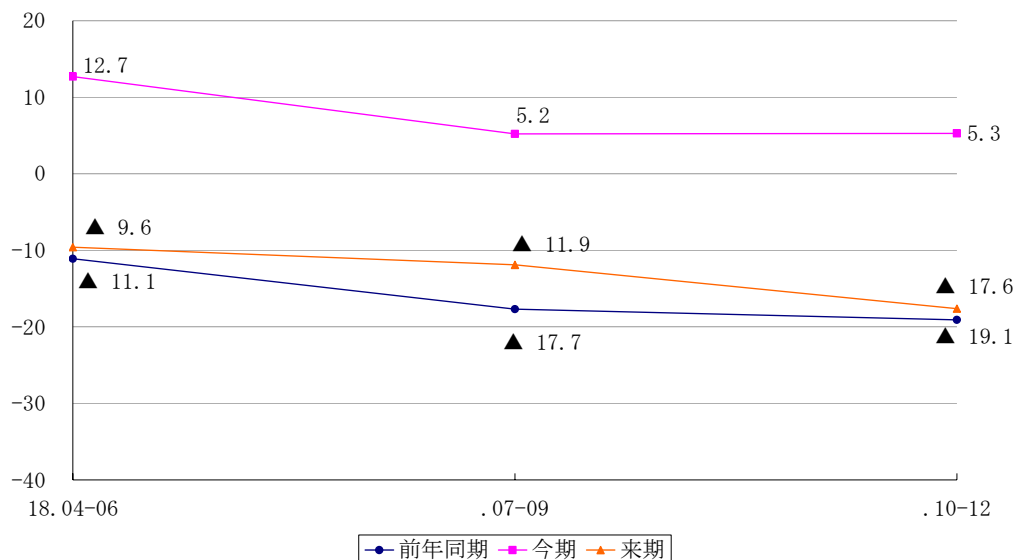


- ・全業種では前回調査と比べて「増加する」と回答した企業が減少し（前回 25.3%、今回 24.0%）、「減少する」と回答した企業が増加している（前回 28.0%。今回 29.3%）。

3. 採算（経常利益）

○今期の採算（経常利益）水準は、DI が5.3 となり、前回調査の5.2 からほぼ横這いであった。

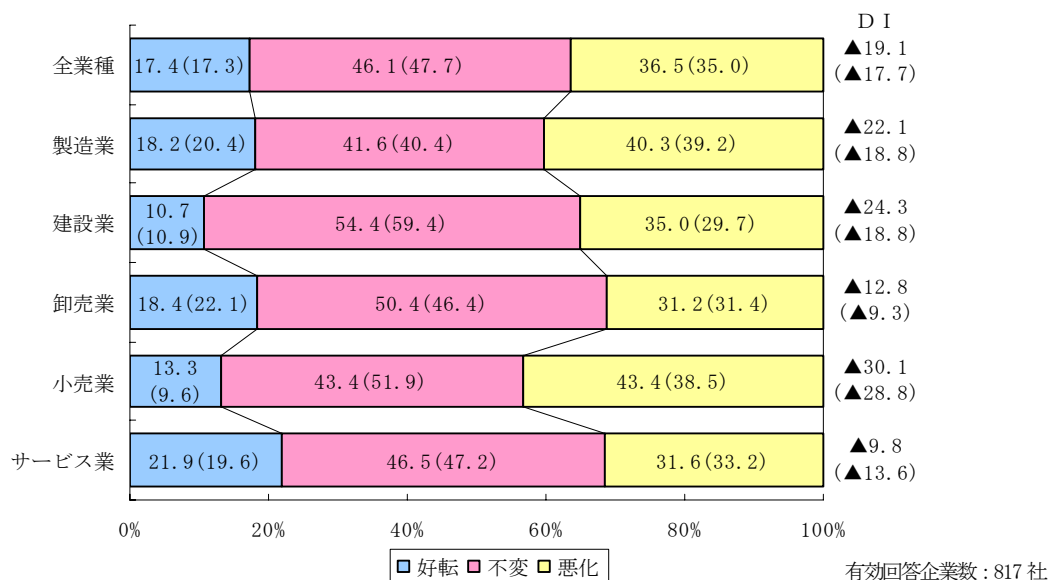
採算DIの推移（全業種）



・今期の採算（経常利益）水準は、DI が5.3 となり、前回調査の5.2 からほぼ横這いであった。

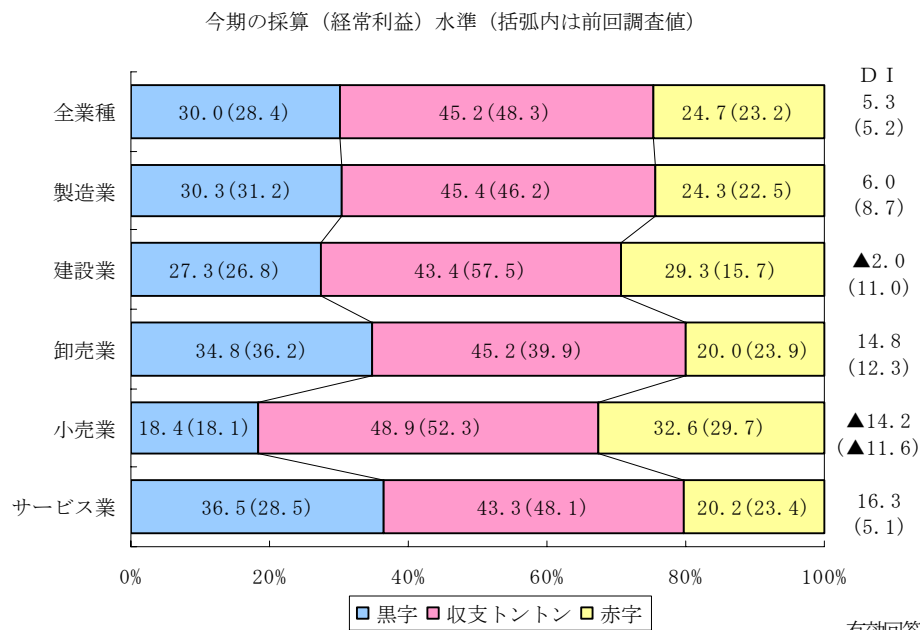
【質問7】前年同期（平成17年10～12月期）と比べた今期（平成18年10～12月期）の採算（経常利益）状況はどうか。

前年同期と比べた今期の採算（経常利益）状況（括弧内は前回調査値）



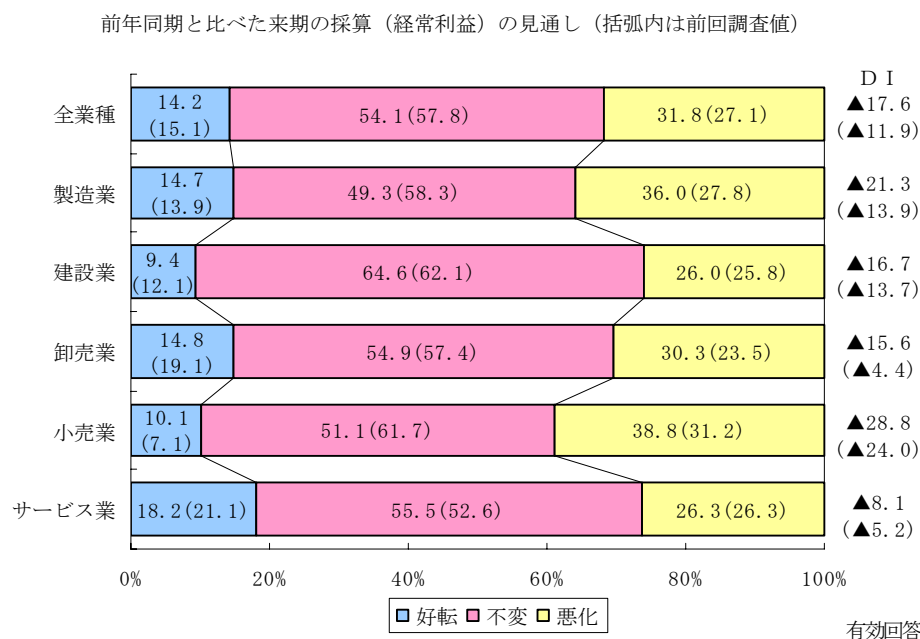
・全業種では「悪化」と回答した企業が36.5%で、「好転」と回答した企業17.4%を大きく上回っている。

【質問8】 今期（平成18年10～12月）の採算（経常利益）水準はどうですか。



- ・全業種では「黒字」と回答した企業が30.0%存在する一方で、「赤字」と回答した企業も24.7%存在する。
- ・業種別では、小売業の厳しさが目立っている。

【質問9】 前年同期（平成18年1～3月期）と比べた来期（平成19年1～3月期）の採算（経常利益）の見通しはどうですか。

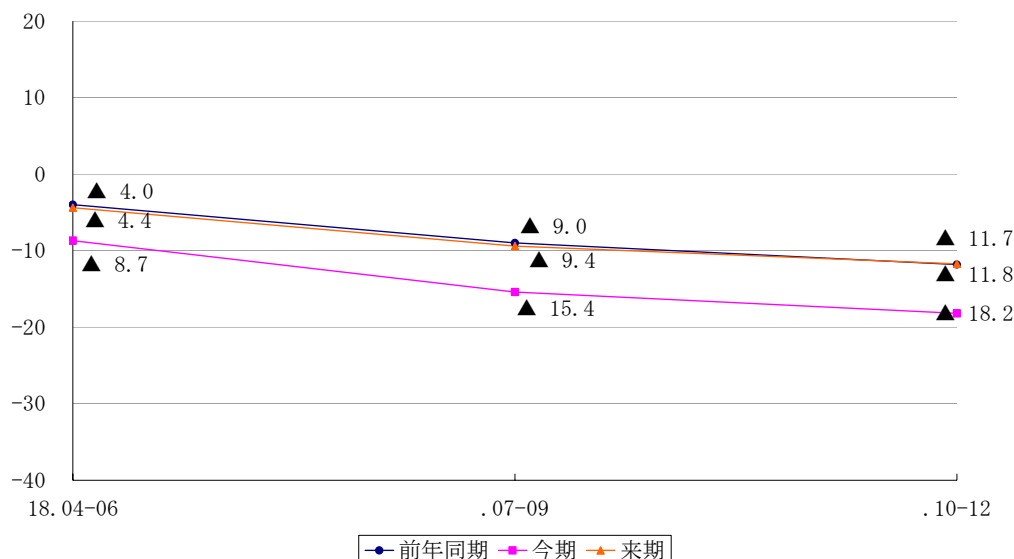


- ・全業種では、「悪化」と回答した企業が31.8%で、「好転」と回答した企業14.2%を大きく上回っている。

4. 資金繰り

- 今期の資金繰り水準 DI は前回調査より 2.8 ポイント (▲15.4→▲18.2) 悪化している。
- 今期の資金繰り水準は、全業種では「厳しい」と回答した企業が 31.4%で、「緩い」と回答した企業 13.2%を大きく上回っている。

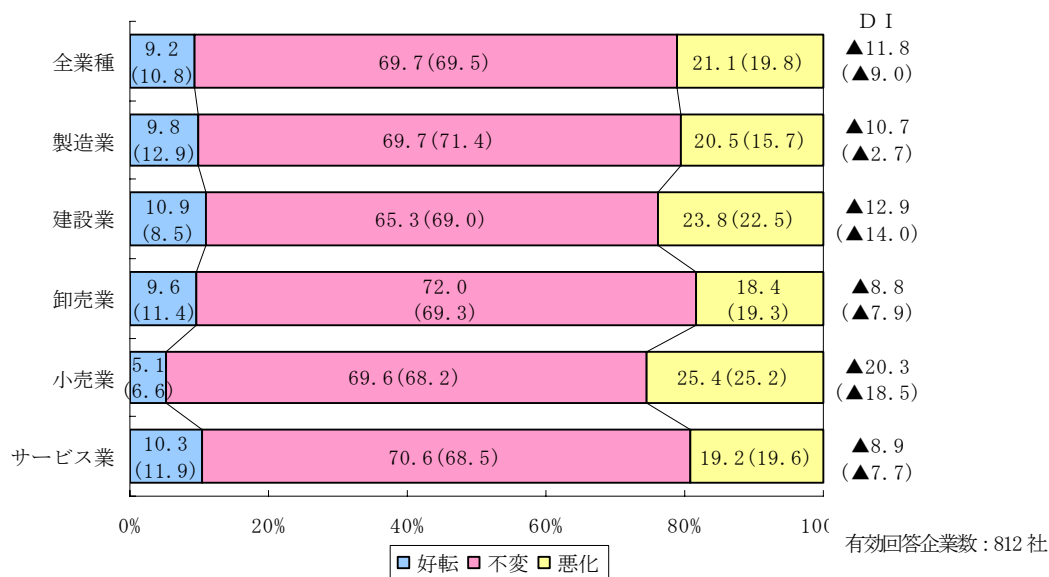
資金繰り DI の推移 (全業種)



- ・今期の資金繰り水準 DI は前回調査より 2.8 ポイント (▲15.4→▲18.2) 悪化している。

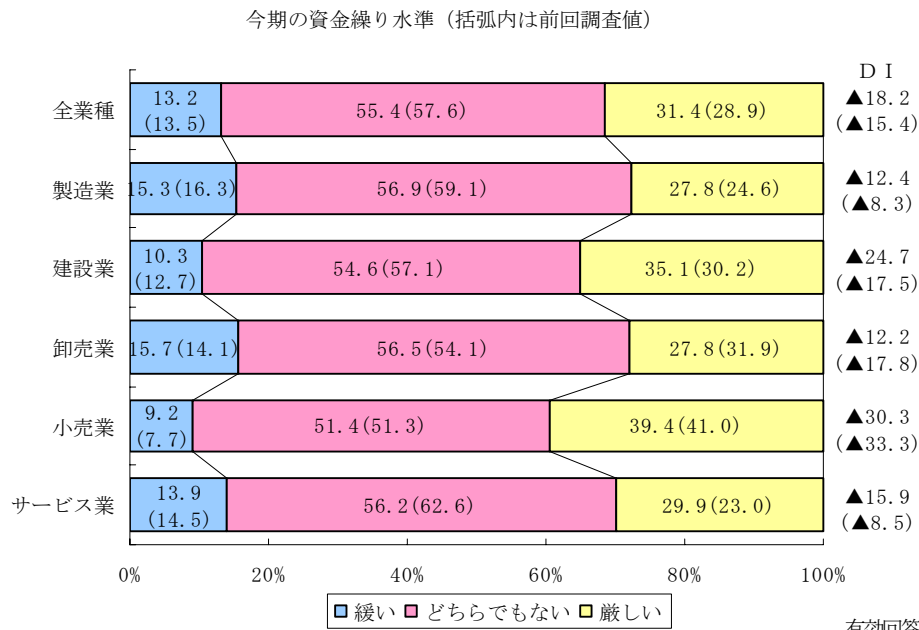
【質問 10】 前年同期 (平成 17 年 10～12 月期) と比べた今期 (平成 18 年 10～12 月期) の資金繰り状況はどうか。

前年同期と比べた今期の資金繰り状況 (括弧内は前回調査値)



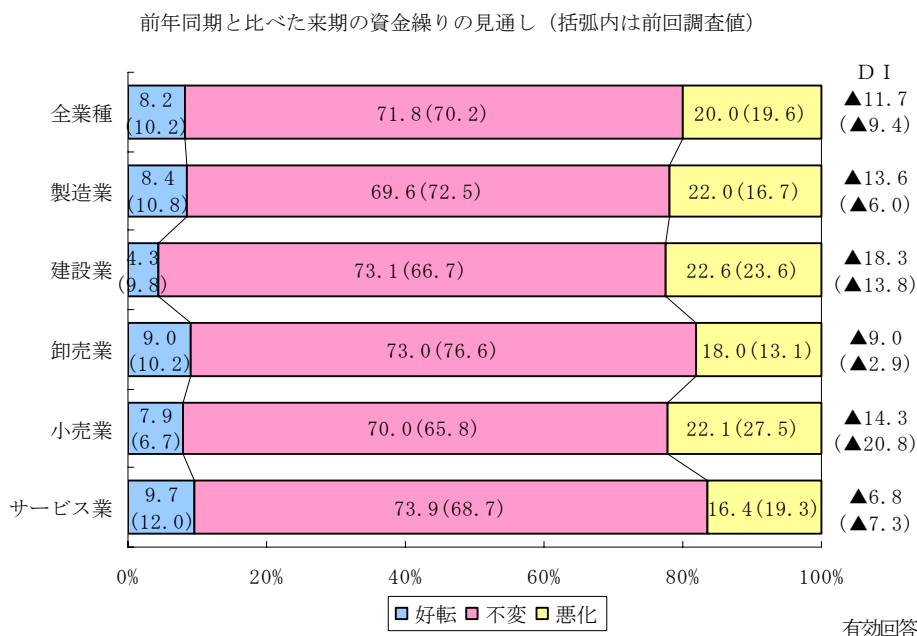
- ・全業種では「悪化」と回答した企業が 21.1%で、「好転」と回答した企業 9.2%を大きく上回っている。
- ・業種別では、小売業の厳しさが目立っている。

【質問１１】 今期（平成 18 年 10～12 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種では「厳しい」と回答した企業が 31.4%で、「緩い」と回答した企業 13.2%を大きく上回っている。
- ・業種別では、小売業と建設業の厳しさが目立っている。

【質問１２】 前年同期（平成 18 年 1～3 月期）と比べた来期（平成 19 年 1～3 月期）の資金繰りの見通しはどうか。

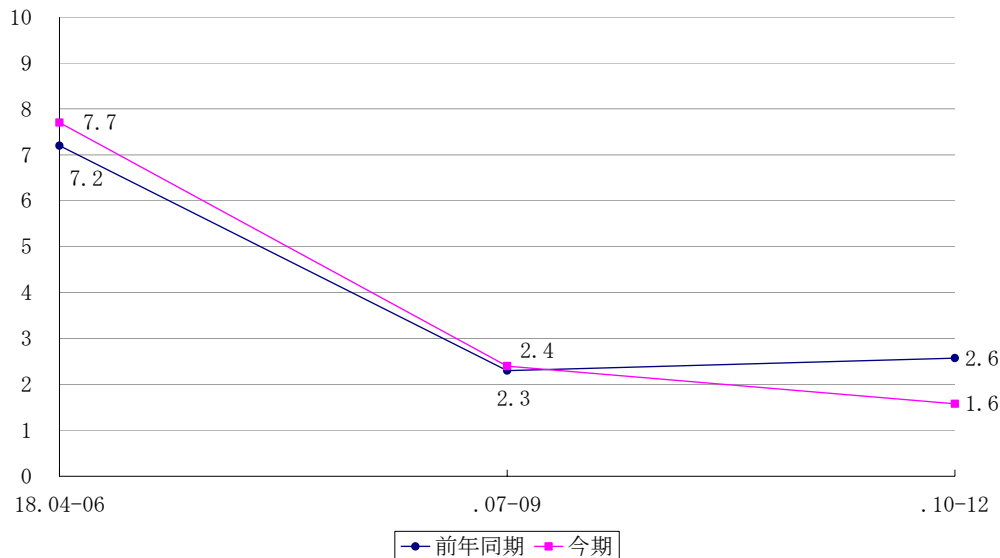


- ・全業種では「悪化」と回答した企業が 20.0%で、「好転」と回答した企業 8.2%を上回っている。
- ・業種別では、建設業と小売業、製造業の厳しさがやや目立っている。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

- 前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢は、DI が 2.6 となり、前回調査の 2.4 からほぼ横這いであった。
- 今期の民間金融機関の貸出姿勢の水準は、DI が 1.6 となり、前回調査の 2.4 から若干悪化した。

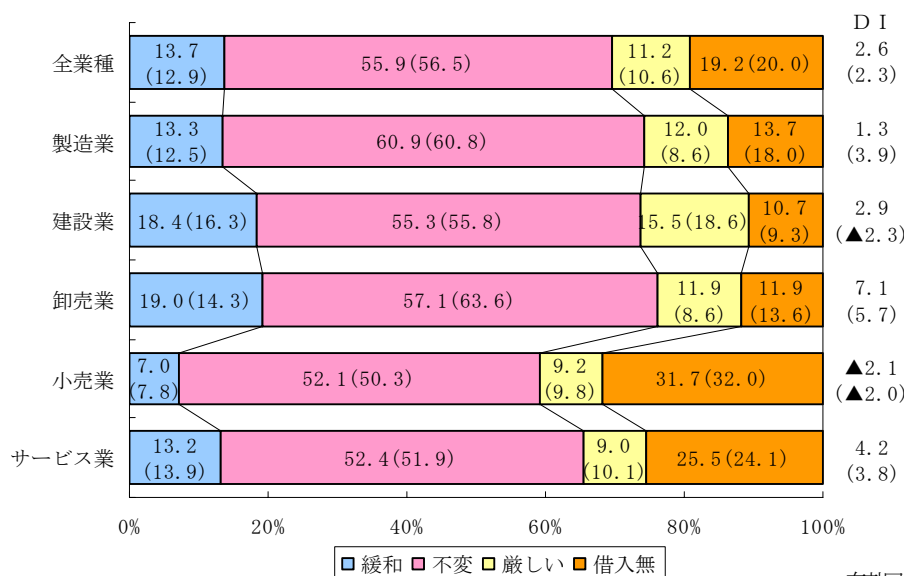
貸出姿勢DIの推移（全業種）



- ・前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢は、DI が 2.6 となり、前回調査の 2.4 からほぼ横這いであった。
- ・今期の民間金融機関の貸出姿勢の水準は、DI が 1.6 となり、前回調査の 2.4 から若干悪化した。

【質問 1 3】今期（平成 18 年 10～12 月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、前年同期（平成 17 年 10～12 月期）と比べて変化がありましたか。

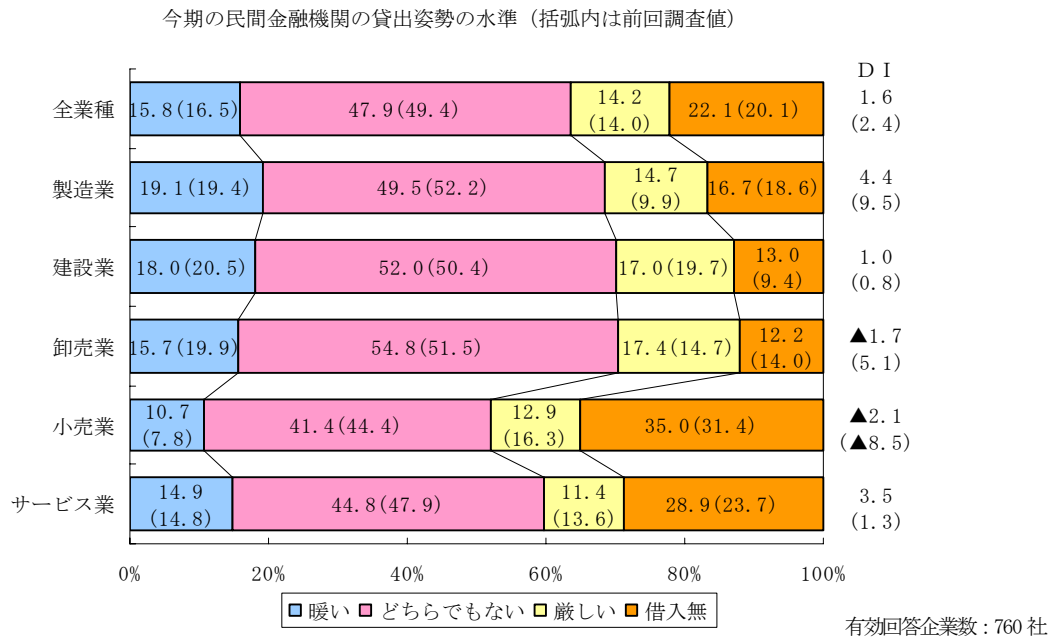
前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢（括弧内は前回調査値）



有効回答企業数：816 社

- ・全業種では「緩和」と回答した企業が 13.7%で、「厳しい」と回答した企業 11.2%を上回っている。
- ・業種別では建設業や製造業の厳しさが目立つ結果となった。

【質問１４】 今期（平成 18 年 10～12 月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種では「緩い」と回答した企業が 15.8%で、「厳しい」と回答した企業 14.2%を上回っている。
- ・業種別では建設業と卸売業の厳しさがやや目立っている。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「厳しい」「赤字」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前回調査とは、平成18年7～9月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。